令和3年度　事務事業評価調書	施策名	小児医療体制の確保	施策コード	04022

【視点(E)(I)】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進　②再エネ導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進　④3Rの推進による廃棄物の削減　⑤温室効果ガス吸収源対策
⑥「Smart道庁」の取組の推進による道庁における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る道内自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し区分】
①普及啓発　②会議等　③調査業務　④宮口業務等
⑤施設整備・維持等　⑥委託業務　⑦補助事業　⑧その他

【見直し状況(F)(J)(M)】
①　対応済
②　今回見直しを検討
ー　対応が不要

【見直し結果（S)(T)(U)】
見直し状況(F)(J)(M)で①②今回見直しを検討を選択した検討結果
○見直し対応　△検討継続

整理番号	枝番	重複施策	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	執行体制 うち一般財源	本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	対応方針番号 (A)	事務事業方向性 (B)	理由及び今後の対応 (C)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 計画等位置づけ (D)	視点 (E)	見直し状況 (F)	理由 (G)	Ⅱ Society5.0 計画等位置づけ (H)	視点 (I)	見直し状況 (J)	理由 (K)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 該当 (L)	見直し状況 (M)	内容 (N)	Ⅳ 前年度意見 該当 (O)	対応状況 (P)	二次政策評価意見	ACTION 結果への対応（令和4年度） 次年度方向性 (Q)	次年度対応内容 (R)	重点点検事業 見直し Ⅰ ゼロカーボン (S)	Ⅱ Society 5.0 (T)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 (U)	二次政策評価意見への対応状況
0201		04021	一般	周産期医療システム整備事業費	⑥	地域において妊娠、出産から新生児期に至る高度専門的な医療を効果的に提供する総合的な周産期医療体制の整備	地域医療課		547,828	15,053	0.3	0.3	0.6	552,514	①	改善（指標分析）	周産期医療体制の整備には、周産期母子医療センターへの運営費の助成や長期入院児の支援、円滑な搬送を担うコーディネーター確保などが必要であることから今後も継続して事業を実施する。	ー	ー	ー		○	ー	①	委託によるシステムの保守において、遠隔監視を導入するなどして既に対応している。	ー	ー				安心して妊娠・出産できる医療体制の構築や子育て中の医療面での負担に対応できる環境づくりを推進するため、周産期医療体制の確保や小児救急医療体制の充実などは重要であり、取組の一層の推進を検討すること。	改善	周産期母子医療センターへの運営費の助成や円滑な搬送を担うコーディネーターの確保などを図るとともに、二次医療圏における小児救急の輪番制などの取組に対する補助の実施や小児救急電話相談などの救急医療体制の整備、勤務環境の改善といった様々な施策を実施し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境作りを推進する。				周産期や小児医療体制を確保するため、周産期母子医療センターに対する運営費の助成や円滑な搬送を担うコーディネーターの確保などを行うとともに、二次医療圏における小児救急の輪番制などの取組に対する補助の実施や小児救急電話相談などの救急医療体制の整備、勤務環境の改善といった様々な施策を実施し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境作りを推進する。
0202		04021	一般	救急勤務医・産科医等確保支援事業費補助金	ー	地域でお産を支える産科医等、産科研修医、NICUにおける新生児科医への手当支給による処遇改善の実施	地域医療課		114,190	0	0.3	0.3	0.6	118,876	①	改善（指標分析）	小児医療体制の整備には、産科医等の処遇の改善を進めることが重要であるため、今後も継続して事業を実施する。	ー	ー	ー		ー	ー	ー		ー	ー				安心して妊娠・出産できる医療体制の構築や子育て中の医療面での負担に対応できる環境づくりを推進するため、周産期医療体制の確保や小児救急医療体制の充実などは重要であり、取組の一層の推進を検討すること。	改善	厳しい勤務環境にある新生児科医師等を確保するには、処遇の改善を進めることが重要であるため、支給される手当などへの助成を行い周産期医療体制の確保を図る。				周産期や小児医療体制を確保するため、周産期母子医療センターに対する運営費の助成や円滑な搬送を担うコーディネーターの確保などを行うとともに、二次医療圏における小児救急の輪番制などの取組に対する補助の実施や小児救急電話相談などの救急医療体制の整備、勤務環境の改善といった様々な施策を実施し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境作りを推進する。
0203		04021	一般	周産期医療対策支援事業費	ー	産科医療体制の確保を図るための地域の産科医療機関への支援	地域医療課		114,050	57,025	0.3	0.2	0.5	117,955	①	改善（指標分析）	産科医療体制の整備には、人口の少ない地域で分娩を実施する医療機関に対して運営費を助成し、分娩を取り扱う医療機関を確保することが重要であるため、今後も継続して事業を実施する。	ー	ー	ー		ー	ー	ー		ー	ー				安心して妊娠・出産できる医療体制の構築や子育て中の医療面での負担に対応できる環境づくりを推進するため、周産期医療体制の確保や小児救急医療体制の充実などは重要であり、取組の一層の推進を検討すること。	改善	分娩を取り扱う医療機関が減少している中で、人口の少ない地域で分娩を実施する医療機関に対して運営費を助成することは重要であるため、今後も継続して実施し、産科医療体制の確保を図る。				周産期や小児医療体制を確保するため、周産期母子医療センターに対する運営費の助成や円滑な搬送を担うコーディネーターの確保などを行うとともに、二次医療圏における小児救急の輪番制などの取組に対する補助の実施や小児救急電話相談などの救急医療体制の整備、勤務環境の改善といった様々な施策を実施し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境作りを推進する。
0204			事務	体系的な小児医療の提供体制の充実	ー	第二次医療圏ごとに入院医療や小児の二次救急医療を担う医療機関を整備し、疾病や症状等に応じた小児医療提供体制を確保	地域医療課		0	0	0.2	0.0	0.2	1,562	①	改善（指標分析）	小児医療体制の確保のため、小児地域医療センターの指定等の取組は重要であることから、今後も引き続き実施する。	ー	ー	ー		ー	ー	ー		ー	ー				子育て中の医療面での不安に対応できる環境づくりを推進するため、小児救急医療提供体制の充実などは重要であり、取組の一層の推進を検討すること。	改善	小児地域医療センターの指定等の取組は重要であることから引き続き行い、小児医療体制の確保を図る。				小児救急医療体制を確保するため、二次医療圏における輪番制などの取組に対する補助の実施や小児救急電話相談などの救急医療体制の整備、勤務環境の改善といった様々な施策を実施し、子育て中の医療面での不安に対応できる環境作りを推進する。
0205			一般	小児救急医療対策費	ー	小児二次救急医療体制を確保するため、輪番方式による小児救急医療支援事業の運営及び設備整備事業に対し、助成する。また、内科医師等を対象として小児救急に関する研修事業を実施	地域医療課		164,288	0	0.3	0.1	0.4	167,412	①②	改善（指標分析）	小児救急医療体制の確保には、輪番方式による体制確保への支援や研修の実施により小児科医の負担軽減を図ることは重要であるため、今後の継続して事業を実施する。	ー	ー	ー		ー	ー	ー		ー	ー				子育て中の医療面での不安に対応できる環境づくりを推進するため、小児救急医療提供体制の充実などは重要であり、取組の一層の推進を検討すること。	改善	輪番方式による体制確保への支援や研修の実施による小児科医の負担軽減を推進し、小児救急医療体制の確保を図る。				小児救急医療体制を確保するため、二次医療圏における輪番制などの取組に対する補助の実施や小児救急電話相談などの救急医療体制の整備、勤務環境の改善といった様々な施策を実施し、子育て中の医療面での不安に対応できる環境作りを推進する。
	1		一般	小児救急医療支援事業運営費補助	ー				148,132	0								ー	ー	ー		ー	ー	ー		ー	ー											
	2		一般	小児救命救急医療体制整備支援事業	ー				12,271	0								ー	ー	ー		ー	ー	ー		ー	ー											
	3		一般	小児救急地域研修（委託事業）	⑥				3,885	0								ー	④	ー	対面の方が医師間の関係性が構築されるなど事業効果が高いことからオンラインでの実施は難しいが、新型コロナウイルス感染症の状況に応じオンラインでの開催も検討。	ー	⑥	ー	対面の方が医師間の関係性が構築されるなど事業効果が高いことからオンラインでの実施は難しいが、新型コロナウイルス感染症の状況に応じオンラインでの開催も検討。	○	ー	対面の方が医師間の関係性が構築されるなど事業効果が高いことからオンラインでの実施は難しいが、状況に応じオンラインでの開催も検討。											
0206			一般	小児救急医療電話相談事業	ー	保護者等が電話により小児科医や看護師から子供の症状に応じた適切なアドバイスを受けることができる「小児救急電話相談事業」を実施	地域医療課		26,314	0	0.5	0.0	0.5	30,219	①	改善（指標分析）	小児救急医療体制の確保には、小児科医等の負担軽減や保護者等の負担を軽減する取組も重要であることから、今後も継続して事業を実施する。	ー	ー	ー		ー	ー	ー		ー	ー				子育て中の医療面での不安に対応できる環境づくりを推進するため、小児救急医療提供体制の充実などは重要であり、取組の一層の推進を検討すること。	改善	小児科医等の負担軽減や保護者等の負担を軽減する取組を行い小児医療体制の確保を図る。 また、協議会についてはオンラインによる開催とし、効率的な運用を図る。				小児救急医療体制を確保するため、二次医療圏における輪番制などの取組に対する補助の実施や小児救急電話相談などの救急医療体制の整備、勤務環境の改善といった様々な施策を実施し、子育て中の医療面での不安に対応できる環境作りを推進する。
	1		一般	運営経費（委託費含み）	ー				26,112	0			0.0	26,112				ー	ー	ー		ー	ー	ー		ー	ー											
	2		一般	協議会経費	②				202	0			0.0	202				ー	④	ー	対面による事例検討（グループワーク）の実施などが重要かつ効果的であるためオンラインは難しいが、新型コロナウイルス感染症の状況に応じてオンラインによる研修実施も検討。	ー	⑥	ー	対面による事例検討（グループワーク）の実施などが重要かつ効果的であるためオンラインは難しいが、新型コロナウイルス感染症の状況に応じてオンラインによる研修実施も検討。	○	ー	事例検討（グループワーク）の実施などが重要であり対面による研修が必要だが、状況に応じてオンラインによる研修実施も検討。											
計								0	966,670	72,078	1.9	0.9	2.8																									

■令和４年度　新規事業